

# しぶし 志布志



## 市議会だより

No.19 2010.11.26 発行

### やっちく松山藩 秋の陣まつり



9月  
定例会

志布志城史跡公園用地を取得へ	2
八野小学校閉校へ	3
9月補正予算	4
動きだす国際バルク戦略港湾	6
災害復旧費増額	8
11 議員がっっぱん質問	9



# 志布志城史跡 公園用地を 取得へ

平成22年9月定例会を9月3日から28日までの26日間開きました。一般会計・特別会計（国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、介護保険、下水道管理、国民宿舎）の補正予算、志布志城史跡公園用地の取得や八野小学校を閉校とする条例など議案9件を審査しました。

これらの議案及び発議2件は原案どおり可決し、臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書、自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書を国に提出しました。

一般質問は11名の議員が口蹄疫対策、防災行政、保健福祉、行財政改革、農業振興などについてたどしました。



国指定史跡志布志城跡

## 財産の取得について

国指定史跡志布志城史跡の公園用地を取得するため、志布志市土地開発公社から、土地8筆9717㎡を買収する。

## 本会議での質疑応答

**Q** ①用地取得費の財源内訳は。②用地取得については、志布志城史跡公園整備検討委員会ではどのような議論がなされたか。

**A** ①用地そのものの代金とそれに伴う土木補償等の経費の合計が、国庫補助事業の対象経費となる。

②志布志城史跡公園整備検討委員会では、公有化については市の方で進めていくことを前提で説明している。そのため、委員からは用地取得については特に意見は出ていない。

（全会一致で可決）

# 八野小学校閉校へ



八野小での運動会

志布志市立八野小学校の  
今後に関する陳情書

平成22年4月27日に八野校区公民館長及び八野小学校PTA会長の連名で提出されました。

(要旨)平成13年から「八野小学校の今後を考える会」を発足して会合を重ね、特認校の導入、PTA先進地研修等努力してきたが、若者の地域離れ等が進み現在に至っている。

平成22年度全児童数10名の内訳は、校区出身者1名、教頭先生の子ども2名、特認校生7名である。平成22年度八野校区公民館総会において、慎重な協議を重ねた結果、誠に残念でならないが、子ども達の教育環境を最優先に考え、今年度を最後に閉校することが望ましいとの結論となった。

八野校区の新たな出発、再生のためにも、校区民の署名を以て次のとおり陳情する。

①八野小学校は平成22年度を以て閉校としていただきたい。

②当校区内に居住する児童の通学手段の安全確保。  
③校区唯一の公共施設である学校跡地(校舎、グラウンド、体育館、プール、校長教頭住宅)の有効活用。

## 本会議での討論

### 反対討論

○安易に統廃合を進めれば集落やコミュニティの崩壊、地域社会の荒廃という取り返しのできない事態を招きかねない。

○本市には多くの小規模校が存在している。学校規模適正化推進委員会で議論がされている最中でもある。他校の状況も良く検討し、方向性を出すべき。結論を出すことはそれからでも遅くない。

○拙速なやり方ではなく、学校のあり方はどうあるべきか真剣に考え方向性を出すべき。

○四浦小学校を休校にし、いつでも開校できる対応をしていることを含めて慎重に対処すべき。

### 小園議員

○地域だけに任せる問題ではなく、行政がしっかりと地域をリードしてい

く姿勢が見えてから結論を出すべき。

### 野村議員

賛成討論  
○陳情の意をくんで賛成。

### 本田議員

○地域が会合を重ねて意見を集約した結果であり尊重すべき。財政事情からも統廃合は待ったなしである。1クラス20、30人とする社会的認識が定着している。

### 丸山議員

○母校であり地元の流れをずっと見てきた。地域もありとあらゆることをしてきたが今回の提出に至った学校の跡地を十分に活用しながら、八野の再生を目指していく思いをしっかりと受け止めるべき。

### 鬼塚議員

起立採決による  
賛成多数で  
**採択**

この陳情採択を受けて、八野小学校を閉校とする学校条例の一部改正条例が追加提案されました。

八野小学校を閉校とする  
条例の制定について

## 本会議での討論

### 反対討論

○提案は拙速すぎる。全体を考えて判断し、個々に判断するものではない。適正化推進委員会の結論を待ち方向性を出すべき。

○地域の核となる学校を失くして、ふるさとづくり委員会を目指す方向としてはどうなのか。

○本市の教育、学校の配置のあり方等についての方向性をしっかりと示すべき。

### 小園議員

○陳情行政であってはならない。廃校ありきであり行政の基本的な姿勢がない。

### 野村議員

### 賛成討論

○陳情書に関する議決をふまえ賛成。 本田議員

○陳情が議会で採択された。子ども達の教育的環境を整えてやるのが教育委員会の仕事である。

### 丸山議員

起立採決による  
賛成多数で  
**可決**

平成22年度をもって八野小学校は閉校することになりました。

# 9月補正予算 一般会計 184億9021万8千円へ

## 9月補正

会計名		補正額	補正後の額
一般会計	4号	2,415万5千円	184億9021万8千円
	5号	2,410万円	
	6号	5億9,418万4千円	
特別会計	国保	5566万4千円	48億3867万3千円
	老人保健	36万円	703万円
	後期高齢	181万円	3億3899万3千円
	介護保険	1億846万8千円	33億1320万4千円

### 一般会計補正予算の主な内容

志布志支所庁舎外壁タイル調査業務委託	120万円
ふるさと志基金積立	310万円
ふるさと納税での寄付金を基金へ	
地域情報通信基盤整備推進事業	1349万円
光ケーブルの電柱共架の使用料	
志布志港湾振興協議会負担金	250万円
国際バルク港湾選定に向けて決起大会等を開催	
環境保全推進事業	114万円
水質保全シンポジウムを開催へ	
救急医療情報キット導入事業	148万円
冷蔵庫に保管する「救急医療情報キット」を導入	
父子家庭への児童扶養手当支給	1353万円
児童扶養手当を父子家庭まで拡充	
老人日常生活用具給付等事業	104万円
ひとり暮らし高齢者等に火災警報器設置費用を助成	
農業・農村活性化推進施設等整備事業	2161万円
別府地区、東原西地区の農道を整備	
現年農業用施設災害復旧事業	1億3千万円
梅雨時豪雨被災の農地や農業用施設を復旧工事	
現年公共土木施設災害復旧事業	4716万円
梅雨時豪雨被災の本宮川等や飯野・松山線等の復旧	
有明総合体育館改修事業	100万円
有明総合体育館玄関庇と身障者駐車場の実施設計	

### 本会議での質疑応答

**Q** 一般会計は、6、7月の豪雨災害復旧費の4号と口蹄疫対策費用を上げた5号補正の専決処分を承認し、農林水産業施設災害復旧費等を盛り込んだ6号補正を可決しました。

**Q** 老人日常生活用具給付等事業には、火災警報器の取り付けまで含むのか。

**A** 業者の方で取り付けをする。

**Q** 救急医療情報キット導入にあたり、消防署や社会福祉協議会と事前にしっかりと協議されたか、また対象者の見込みは。

**A** 消防署とも協議は行った。社協が実施しているものとは併用していきたい。対象者は現在7847人である。

**Q** 農地・水・環境保全向上対策支援助交付金の返納について、来年度はどつするののか。

**A** 環境保全の取り組みを啓発することを目的とする。市民が水質の状況を認識し、環境にやさしい生活様式の実践や事業活動を行っていく

**A** 来年度については、事業の経緯を十分説明し、理解をもらいながら対応を決めていきたい。事業の成果も十分勘案しながら協議していく。

**Q** 仮称志布志市水質保全シンポジウムの内容は。

**A** 県は既定の予算で対応する。要望先は、国会議員や国土交通省、東京にある県の事務所が中心となる。

**Q** 国際バルク戦略港湾選定について、要望活動には県も予算措置はしているのか。また、要望先はどちらになるのか。

**A** 基本協定の中に施設の維持管理も入っているため、適切な維持管理に努めるよう指導をした。

**Q** 有明総合体育館の事故改修について、指定管理者とのあり方は。

**A** 有明総合体育館の事故改修については、指定管理者とのあり方は、

# 意見書

臨時会の招集権を  
議長に付与することを  
求める意見書

議会の招集権は首長にのみ与えられているため、二元代表制としての議会の責務を果たすには不十分であることから、内閣総理大臣はじめ国の関係機関に意見書を提出しました。

自主共済制度の  
保険業法適用除外を  
求める意見書

下段に示す内容で、金融担当大臣あてに意見書を提出しました。

# 陳情

観光活性化に関する  
陳情書

志布志観光ガイドから本市の観光活性化のため改善が必要と考えられる事項を、提出されたものです。

## 自主共済制度の保険業法適用除外を 求める意見書 (要旨)

2006年に「保険業法の一部を改正する法律」(以下「新保険業法」)が施行されて以降、非営利団体であった特定の構成員を対象に健全に運営されてきた自主共済も「保険業」とみなされ、保険会社と同等の規制を受けることとなり、次々と制度廃止や解散に追い込まれている。

自主共済は一度壊れてしまうと再生させることは極めて困難であり、「共済」の名を騙り、不特定多数の者を対象に無許可で保険業を行ってきた営利業者と本質的に異なる自主共済を、政治の責任で明確に区別し、自主共済を早急に新保険業法の適用除外とすることを求める。

## 臨時会の招集権を議長に付与することを 求める意見書 (要旨)

現行の地方自治においては、議会の招集権は首長にのみ付与されており、議会に対しては一定の要件の下に臨時会の招集請求権が、議長及び議員に付与されているのみである。

議会の招集権を議長に付与することで、住民代表として議員が自律的に議論をする場を設定できるようにすることが肝要であり、二元代表制の一翼としての議会の役割を担い責務を果たすためには、不十分な状況であると言わざるを得ない。

このようなことから、議会の招集権が議長にも付与されるまでの当分の間については、下記のいずれかの事項の早急な実現が図られるよう速やかな地方自治法の改正を強く要望する。

## 観光活性化に関する陳情書 (要旨)

### 陳情項目

#### 1 トイレ、駐車場の整備について

- (1) 現在ある公共トイレの清掃
- (2) 新たな公共トイレの整備
- (3) 公共駐車場の整備

#### 2 歴史資料館の整備について

- (1) 山中氏邸の商業資料館の整備を早急に進めること。
- (2) 関連する一帯を整備し、「歴史文化(歴史資料館)通り」として設定し、特色ある資料館の整備を進めること。
- (3) 関連した特産品・グッズを開発し、名産として売り出すこと。

#### 3 推進体制について

「専門のプロジェクトチーム」を設置し、計画、効率的に事業を推進し、上記の早期実現を図る。

### 記

- 1 議会の構成及び議員等の提出による会議に付すべき事件について、臨時会を招集する必要があると議長が認めるときは、その招集権を議長に付与すること。
- 2 地方自治法第101条第4項に規定する「20日」を超えても首長が議会を招集しない場合においては、議長にその招集権を付与すること。

### 人権擁護委員の推薦

人権擁護委員に

高田 俊洋 氏

(50歳・仲町)  
を推薦しました。

同委員は、人権相談や人権思想の普及・啓発などを行います。

### 決算審査

### 特別委員会を設置

平成21年度的一般会計・特別会計決算の認定については、それぞれ特別委員会を設置し審査します。

◎委員長 ○副委員長

### 一般会計決算審査特別委員会

◎本田孝志 ○下平晴行

平野栄作 丸山 一

玉垣大二郎 坂元修一郎

藤後昇一 小野広嗣

長岡耕二

### 特別会計決算審査特別委員会

◎鬼塚弘文 ○小園義行

西江園明 鶴迫京子

毛野了 立平利男

岩根賢二 東 宏一

福重彰史

# 動きだす国際バルク戦略港湾

## 総務委員会



国際バルク戦略港湾選定への総決起大会

### 一般会計補正予算 (第6号)

**Q** 今年度の地方交付税の確定額はいくらか。

**A** 前年度より**4・8%の増**

普通交付税は前年に比べ、3億1892万円、率にして4・8%の増となっている。総額は69億5349万7千円である。

### 志布志市の借金の額は

**Q** 地方債(市の借金)の今年度末の総見込み額はいくらか。

**A** 総額238億5302万1千円となる見込みである。

**Q** ICT事業に係る交付金対象外、1348万5千円の増額補正予算は、九州電力とNTTに支払う電柱共架使用料だが、単価の違いは。

会社で電柱共架料が設定され使用料が異なる。単価は会社で厳格に決められ、そろえられなかった。

**Q** 志布志港湾振興協議会への250万円の負担金の内容は。

### 決起大会や要望活動に

**A** 国土交通省が進めている国際バルク戦略港湾へ選定に向け、決起大会開催や要望活動に取り組み費用である。

**Q** 徴税费565万円の増額補正の内容は。

### 国税連携に伴う予算

**A** 平成23年1月から開始される国税連携(所得税の確定申告書データを国税庁から直接、電子データで送る)のため整備するもの。そのうち10万6千円は国税連携開始に伴う1月から3月までのデータ連携使用料である。次年度からはこの分の1年分のみ出費となる。

### ふるさと志基金の総額は

**Q** ふるさと志基金の現在までの積立金総額は。また、今回の310万9千円の寄付金の使い道の指定は。

**総額1877万9924円**

**A** 平成22年8月末までの総額は1877万9924円。今回の42件分のうち□でい疫対策希望が36件で269万4399円。教育・文化に3件、30万円。指定なしが3件、11万5千円となっている。

### 国民宿舎特別会計 補正予算(第1号)

**Q** ダブルの経営状況は

**A** 4月は好調であったが□でい疫関係の影響を受け、7月までの4か月平均で営業収入や宿泊等、15%ほど落ち込んだ。8月は終息宣言を受け後半には前年並みに回復した。9月も好調である。21年度決算は休暇村サービスの収支で、市に6500

万円納付後の赤字額は、3千万円である。初年度に比べ、今年度も赤字額は減額し、収支状況は改善するのでは、と報告を受けている。

### 休暇村サービスの撤退は

**Q** 新たに指定管理者募集が始まっている。内之浦で休暇村サービスが撤退した経緯があるが、今回、本市でも撤退する可能性はないのか。

**A** 8月26日の指定管理者募集の説明会に出席しているので提案されるのでは。

### 陳情関係

「観光活性化に関する陳情」と、「自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書採択の陳情」については採択。

# 八野小学校閉校陳情を採択

## 文教厚生委員会



八野小運動会での応援団

陳情第9号  
志布志市立八野小学校の  
今後に関する陳情書

当陳情書は、6月の第2回定例会において、当委員会に付託となったが、結論まで至らず、閉会中の継続審査となり、休会中の8月に1回そして9月の第3回定例会中の計3回委員会を開催し審査を行った。

**Q** 当陳情書に対する執行部の意見は。

**A** 地域の核である小学校が児童数の減少により、地域で自主的に議論され、閉校の陳情を提出されたことは、学校教育をあくまで行政としても残念に思う。

**Q** 校区公民館から平成22年度をもって閉校という明確な意思表示に対しての意見は。

**A** 校区公民館は地域の意志決定機関と思う。県内でも地域からの要望をくみ取り決定している経緯がある。

**Q** 学校設置者である市と教育委員会が議論して方向性を出すべきではないか。

**A** 今まで、「市立学校の規模・配置の在り方検討委員会」で議論してきたが、今年度から、「市立学校規模適正化推進委員会」に名称を変え、具体的に協議をし、年度末には基本方針を決定したい。

**Q** 他の小規模校の状況はどうか。

**A** 今のところ、各校区の推移を見ても、急速に閉校や統廃合に進んでいく学校はないと考える。

**Q** 学校の跡地対策は。

**A** 地域と十分協議したい。

**反対討論** 子供の人数だけで適正規模を議論する

ことは納得できない。もっと慎重に審査すべきではないかと考える。

**賛成討論** PTA会長をはじめ校区の9割以上の署名のある陳情であり、校区でも長期間にわたって協議しており、それらを尊重し採択すべきである。

### 賛成多数で採択

一般会計補正予算  
(第6号)

**Q** 救急医療情報キットの内容と対象者は。

**A** 救急隊に意思表示が困難なとき、冷蔵庫に「緊急時の連絡先、かかりつけの病院」などを記入した小さな箱を入れておき、即対応できるようにするものである。対象者は、高齢者世帯、65以上のひとり暮らしの世帯や障がい者の一部であり、申請により支給する。

**Q** インフルエンザワクチンの助成は。

**A** 今年度から、季節性と新型に対応するワクチンへの助成である。

八野小学校を閉校とする  
条例の制定について

**Q** 現在の八野小学校区内の集落の校区は。

**A** 近隣の潤ヶ野小校区になると思う。

**反対討論** 当面休校という選択肢もあるのに即、閉校は反対である。

**賛成討論** 地域からの陳情書は尊重すべきで、陳情書はすでに議会でも採択されている。

### 賛成多数で採択

# 災害復旧費 1億7718万8千円増額

## 産業建設委員会



市道芝用水源地線の災害状況を調査する委員

Q 災害復旧費の内訳は。

一般会計補正予算  
(第6号)

A 農林水産業施設が補助事業で農地16地区・農業用施設21、単独事業で農地27地区・農業用施設18、総額1億3002万

円、公共土木施設が補助事業で河川3件、道路7件、総額4716万8千円である。  
※農林水産業施設災害は40万円以上、公共土木施設災害は60万円以上が補助対象。

Q 河川の災害防止に対する基本的な考え方は。

A 基本的に原型復旧が国の考え方であるが、天然河岸については強固な構造物で災害復旧を申請している。

Q 道路災害復旧工事了り見込みは。

A 大きな工事以外は年内に完了する見込みではないかと考えている。

Q 農地・水・環境保全国上対策支援交付金の返納金574万円は、市が対応するのか。

A 協定農用地内の農振地域面積のチェックが足りなかった。共生・協働の推進からも市の責任で返納していきたい。

Q 共生・協働のむらづくり支援事業の内容は。

A 新たなコミュニティづくりの推進による農村集落の活性化を促進する県の支援事業に松山町大野原集落が選定された。23年度までにたい肥作り拠点としての整備、フラワールードの整備、都市農村交流イベント等を実

施する計画である。

Q 土地改良施設補助金800万円の事業内容は。

A 松山町土地改良区が事業主体となり、松山地区の水田約5ヘクタールに暗きよ排水として素焼き土管を入れる計画である。



市道岩屋・芝用1号線の災害状況の説明を受ける委員



坂元 議員

# 本当に終息したのか？口蹄疫

## 緊張感を持って今後も取り組んでいく



港と畜産のためにも対策を

**坂元修一 議員** 宮崎県に発生した口蹄疫は、多大な被害を及ぼし終息宣言がなされたが、安心はできない。今後も本市独自の取り組みが必要ではないか。

**市長** 終息を迎え、市場が正常化するまで、畜産農家への補助金として8200万円、車輛の消毒作業など、防疫に

2800万円を要した。冬に向け、残存するウイルスの活性化も無視できない。畜産を主幹とする産地として、また飼料基地を持つ市として、常に緊張感を持って今後も防疫に取り組んでいく。

### 経済的影響は

**問** 本市への経済的被害額をどのように試算して

いるか。

### 畜産農家から

### 商工業全般に及んだ

**市長** 肉用仔牛出荷が延期されたことによる管理費増と仔牛価格の安値で、1億2900万円の損失と推計される。

終息宣言がでるまで、ほとんどの商工業に影響を及ぼし、4割が20%の売上減と答えている。大型宿泊施設では、前年比で10%の落ち込みで、飼料各社とも出荷量が5%減となっている。

### 今後の対策は

**問** 今回の口蹄疫で何を学び、どう対策を講じていくか。

### 初動の速さと

### 自主防疫が重要

**市長** 初期段階での対処がいかに大事かを学んだ。今年整備される情報網を通じて、短時間で情報伝達を行い、防疫体制は24時間以内に整える。畜産農家へ自主防疫を



家畜獣医師の増員を



お願いし、常設消毒ゲートの設置を希望する農家には、補助率2分の1を上限に15万円の助成を行う。

### 獣医師の確保は大丈夫か

**問** 農家を支援することにも、目視での確認など、獣医師の務める役割は幅広い。曾於地域での確保状況はどうか。

### 慢性的に不足

**市長** 口蹄疫等の緊急時における医師の要請リストは整備されている。し

### 国への要望を

**問** 本市での家畜伝染病は、経済の崩壊を意味する。防疫と基金の為に要請活動も必要ではないか。

### 強く要望していく

**市長** 地域の実情に沿って、きめ細かに積極的に要望していく。



本田 議員

# 開発農協との協議の進ちよくは

## ▼昨年から進めている

救急医療情報キット  
配布の拡大を

し、来年度の移管を  
指したい。

**本田孝志議員** 昭和33  
年から旧有明町は、J  
Aと一体となって開発

農協を設立し現在に  
至っている。しかし現  
在、市が進めている地  
域情報通信基盤整備推  
進事業が、完成すれば  
開発農協は解散するこ  
とになる。協議をして  
いるのか。

**市長** この地域情報通  
信基盤整備推進事業は  
開発農協と密接な関係  
があることから、昨年  
の8月から協議を行っ  
ている。

### 協議はいつしたか

**問** 私の調査では、今  
年の7月に二者協議  
(開発農協・JAあお  
ぞら・市)を行ってい  
るが、具体的な日時と  
その内容は。

### 7月に2回開催

**情報管理課長** 三者協  
議は、7月2日に行った。  
開発農協の現状説明と解  
散となった場合の精算金  
の試算や出資金の取り扱  
いについて協議した。7  
月12日に事務協議という  
ことで、それぞれの担当  
者で精算金等について協  
議した。

### 解散なら

**約7千万円の欠損金**

**問** 解散するとすると、  
JAや市からの出資金  
など約7千万円の欠損  
が出るかと試算されてい  
るが、どのように考え  
ているのか。

### 十分な対応を

**市長** 見積によると、  
現在の電柱や電線など  
の撤去費用に予想以上

にかかることから、処  
分の仕方を協議してい  
る。開発農協の今後に  
ついては、今まで重要  
な役割を担ってきたこ  
とを重く受け止め、幕  
引きについては、十分  
な対応をしたい。

### 職員の身分保障は

**問** 開発農協には、現  
在4人の職員が働いて  
いる。今後の身分を保  
障すべきではないか。

### 市の職員としては困難

**市長** 職員の身分につ  
いては、保障しなけれ  
ばならないと考えてい  
る。しかし、市の職員  
としては困難であるの  
で、新しく運営が始ま  
る企業へお願いしてい  
る。



元気一杯遊ぶ保育所の子ども達

### どうなった 保育所の民間移管

**問** 昨年まで進めてき  
た保育所の民間移管は  
松山地区の2か所を残  
しているが、今後の見  
込みはどうなっている  
のか。

### 来年度を目標に

**市長** 昨年、一か所の  
保育所は、保護者の同  
意が得られず、もう一  
か所は、同意は得られ  
たが、経営者の応募が  
なく断念した。今年度  
中に再度、保護者の理  
解が得られるよう努力

### 全員は厳しい

**市長** 配布対象は、ひ  
と暮らしの65歳以上、  
65歳以上のみの世帯と  
障がい者の一部の人が  
対象である。

以上のほかに、航空防  
除の農薬散布の効果に  
ついて質問した。



西江園 議員

# 地域情報通信の必要性は 基盤整備事業

## ▶ 県内では 10 自治体実施

**西江園 明議員** 現在、市が46億円以上の事業費をかけて進めている地域情報通信基盤整備推進事業は、いくら国の補助事業とはいえ、本当に志布志市に必要な事業なのか疑問をもつ。

**市長** 県内では、離島の9町村と本土では肝付町だけである。

**事業者は決まっているのか**

**問** 民間での整備が見込めない離島の町村だけがこの事業に取り組んでいることから、ほかの自治体には魅力ある事業ではなかったからだと思う。さらに志布志市は、事業費の6割近くをかけて、ケーブルテレビの回線の整備を行う計画になっている。民間の事業者が今後10年間、市との協定により運営し、その後は、すべての財産の無償譲渡を受け運営し

ていくことになっている。この事業者は決まっているのか。

**まだ契約はしていない**

**情報管理課長** 選定委員会によって3月以内定はしているが、料金等の問題から契約はしていない。

**自治会説明会の出席率は**

**問** この事業について、8月に職員が各自自治会で説明会を行ったが、市民の出席率はどのくらいか。

**情報管理課長** 出席率は34・6%である。

**ケーブルテレビの説明も職員か**

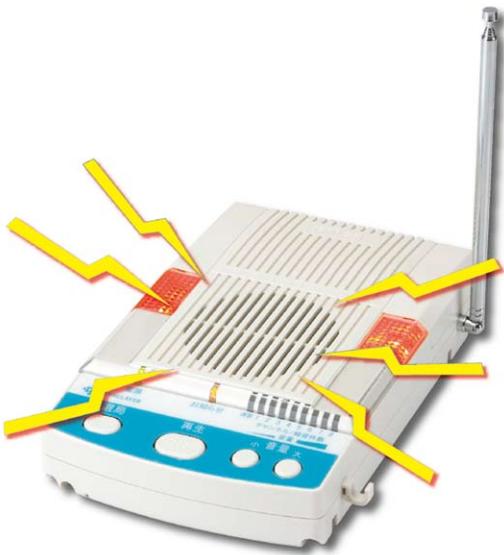
**問** 今後、ケーブルテレビの説明会は、11月から予定しているが、ケーブルテレビは、民間が経営するものである。なぜ、市の職員が、民間が行う有料の部分を説明するのか。

**内容の説明を**

**市長** 防災情報等を提供する告知放送端末機の申し込みを受け付ける説明会を開催するが、そのとき提供するサービスと共に説明する。

**問** 4月23日付けの工事発注予定の情報公開でこの委託業務は、5月に発注予定と発表されているのに4月には入札を執行しているがなぜか。

**財務課長** 工事発注予定の公表は、各課から



無償で貸与される行政告知放送端末

の予定を公表している。なおこの工事は4月15日に指名通知を行い、28日に入札を執行した。

**再入札はなぜ3社か**

**問** この業務委託は、4月に4社を指名して入札を行っている。この入札では、約1億1千万円の仕事を約62%で落札して仕事途中の会社と6月に一方的に契約解除をしている。そして7月に4月の4社から契約解除した1社を除いた3社で再度入札を行った。その結果、

4月には80%で入札した同じ会社が、約90%で落札している。その差は、約3千万円である。なぜ、新しく業者を追加しなかったのか。

**全国的に業者が少ない**

**情報管理課長** 全国的に、この業務ができる会社が少なく、3社しかなかった。

**なぜ下請け業者を訪問**

**問** 最初の打ち合わせを業者と5月17日に行っている。月末には、大分の下請け業者、6月初めには熊本の本社まで出張し、業務が遅れると違約金が発生するなど圧力と受け取れる行動を取っているが、なぜか。

**急ぐようお願い**

**情報管理課長** 業務の遅れがあったので、下請けの会社をお願いをしたところである。



岩根 議員

# 職員による特設消防団の設置を

## ▼その考えはない

**岩根賢二議員** 昼間の火災等にいち早く対処できるように市役所と各支所に職員で構成する「特設消防団」を設置する考えはないか。

**市長** 志布志支所には分隊を組織し、小型ポンプ車を配備して市街地の火災に対処している。団員は9名おり、それに対応しきれない時は、本庁からも団員が出勤して応援する体制をとっている。で、本庁と各支所に特設の消防団を設置することは今のところ考えてない。

### 消防団員の確保策は

**問** 消防団員とその家族を対象にした飲食店や美容院の割引などの消防団員サポート制度を設けている市もあるが、消防団員の確保策をどのように考えているか。



志布志支所の消防車

### 訪問して団員確保

**市長** 分団の役員や後援会の協力をもらい訪問し、お願いしている。現在の充足率は96%である。

消防団員サポート制度については勉強させていきたい。

### 消防団協力事業所表示制度の活用を

**問** 「消防団協力事業所表示制度」とは、複数の消防団員を雇用している事業所や消防団活動に積極的に協力している事業所を認定したり表彰する制度である。この制度をもっと活用すべきではないか。

### 制度を周知して活用する

**市長** 昨年10月にこの制度の実施要綱を策定したがまだ実績はない。今後この制度の周知を図り、事業所に直接話をする等して活用していきたい。

### 各小学校で少年消防クラブの活動を

**問** 山重小学校にある「少年消防クラブ」の活動を市内の各小学校でも取り組んだりどうか。

### 研究したい

**市長** 活動を行うことは可能だと思いが、学校行事や放課後のスポーツ活動や学習活動、指導者の確保等クリアしなければならぬ課題もあるので研究したい。



宝満寺跡のトイレ

### 観光行政をどう進める

**問** 国も県も観光行政を強く推進している。本市の観光行政をどのように進めていく考えか。

### 産業振興につなげたい

**市長** スポーツやイベントと併せた市内観光、自然と歴史を生かした体験型観光等により、産業振興につながる観光行政を推進していく。

### 歴史のまちづくり事業の今後の見通しは

**問** 歴史のまちづくり事業の推進状況と今後の見通しはどうか。

### 実施計画を策定する

**市長** 平成20年5月に「検討委員会」を設置して志布志城史跡の公有化を進めてきた。今後は実現可能な事業を選定し実施計画を策定する。トイレや駐車場もできることから早めに整備していきたい。



小野 議員

# 国際交流の推進を図れ！

## ▼本市の特性を利用した交流を進めたい

**小野広嗣議員** 中核国際港湾志布志港を持つ本市は、国際性豊かな都市を構築するためにも、活発な交流が望める都市や地域を探し出し、積極的に国際交流を推進すべきではないか。

**市長** 今後の国際交流については、本市の特性である農林水産業、環境政策、文化・歴史、志布志港を活用した交流を進めていく考えである。特定の地域との姉妹盟約などについては、少し時間をかけて調査したい。

**問** 国際交流協会のような組織が県内の4割ほどの自治体で立ち上げられている。本市にはそういった組織がないがどのように考えているか。



中核国際港湾志布志港

### 設置に向けて考えたい

**市長** 今後、具体的に進めるとなるとときにそのような機関が必要になるので、設置に向けて考えたい。

### イベント事業の見直しを

**問** 市が行うすべてのまつりやイベントの事業内容の検討や統合・廃止などについて、所管課を超えて一度全庁的に見直し

を図る必要があるのではないか。

### 行政評価制度を導入し対応

**市長** 現在、市が実施するイベントを含めた全事務事業を対象として行政評価制度を導入している。事務事業外部評価会議も実施しており、今後はその結果を行政改革推進本部会議で協議し、対応する。

### 医療費の抑制にジェネリック医薬品の利用促進を

**問** 高まる医療費に健康保険の財政がついていけない現状にある。医療費の増加への対抗策として、国民健康保険をはじめ、医療保険の財政の健全化や自己負担額の軽減が期待されているジェネリック医薬品の利用促進をさらに図るべきではないか。

### 普及に向け取り組みたい

**市長** ジェネリック医薬品である後発医薬品の普及は、医療保険財政の改善、患者負担の軽減に資するものと考え、医師会等医療関係者との連携も図りながら推進したい。  
※後発医薬品・成分や製造方法の特許権が消滅した先発医薬品と同じ成分を含んだ医薬品

### メンタルヘルス対策を

**問** 厚生労働省では、現在のうつ病患者数を約250万人、うつ病を含む気分障害の有病者数を1000万人以上と推計している。今やうつ病などのメンタルヘルス対策は喫緊の課題と考えるが、市としてはどのように現状を認識し、今後取り組みつもりか。

小中学校の教育現場では、メンタルヘルス教育にどのように取り組んでいるのか。

### 啓発活動を行いたい

**市長** うつ病対策は、うつ病に対する気づきから始まると言われている。市民がうつ病を知り、うつ病に気づき、適切に対処できるように、地域保健活動の中で、対策に取

り組む必要があると考えている。啓発活動を多様な場と方法により行いたい。

**教育長** 最近の児童生徒を取り巻く社会環境や生活様式は著しく変化してきており、学校教育における児童生徒の心の健康も大きな課題となっている。メンタルヘルス対策及び教育は、一体化したものであるとらえ、積極的に取り組みたい。

### 精神疾患の早期発見を

**問** 政府は、来年度より企業や事業所が実施する健康診断に、精神疾患を早期に発見するための独自の項目を取り入れることを決めた。本市が行っている健康診断でも、精神疾患の早期発見ができるように診断項目の中に取り入れられないか。

### 研究し取り入れたい

**市長** 示された国の取り組みについては、十分研究し取り入れていきたい。



立山 議員

# 給食センター等で志布志茶の消費拡大を

## ▼抹茶パン等に使用

**立山 静幸議員** 給食センターでは、毎日約3210食分が配送されている。お茶の白和えや卵焼き等に使用し志布志茶の消費拡大はできないか。

**教育長** 新茶を使った抹茶パンや天ぷらの衣に抹茶を使用している。今後献立を研究したい。緑茶に感謝の心をもって食するよう指導している。

### 小・中学校の保健室でお茶の活用を

**問** お茶の甘みうま味成分のテアニンは人の心と体をリラックスさせるいやしの効果がある。保健室に来る生徒にお茶を飲ませる考えはないか。

### すでに7、8校で実施

**教育長** 心の悩みを持った生徒が多く保健室に来る。養護教諭と一緒にお茶を飲むことで、緊張がほぐれるなどの効果があるので、志布志茶の消費拡大の一助としたい。

### 中学校の調理実習での献立研究は

**問** お茶を使用した料理は健康によいだけでなく、豊かな香り、色は食卓を華やかにする。お茶を使った多くの献立を研

究すべきと考えるが。

### 地域の食文化を生かした調理実習を実施

**教育長** 地域の食材を生かす調理実習を行い、抹茶ケーキ等を作っている。今後はお茶を使った調理実習を積極的に実施する。

### 食の自立支援事業の弁当への利用は

**問** ひとり暮らしや虚弱な高齢者等に毎日約150食弁当を提供している。この弁当にお茶を利用した献立は考えられないか。

### 消費拡大のメニュー開発を

**市長** 高齢者に対して、栄養のバランスの取れた食事を提供している。社会福祉協議会へ委託して



砂防読本

また、県は出前講座の計画をしているが出前講座の計画があるのか。

### 効果的資料として活用

**教育長** 梅雨時期など土砂災害の起こりやすい時期に、各学校が作成した安全マップを参考に、土砂災害の仕組みや、日ごろの備え等について指導している。今後も効果的資料として砂防読本を活用し、防災教育の推進を図る。出前講座は必要に応じて活用したい。

### 砂防読本を自主防災組織に配布する考えは

**問** 砂防読本を各自治会の自主防災組織に1冊ずつ配布する考えはないか。

### 自主防災組織に配布

**市長** 県から特別に400部配布を受けたので、自主防災組織に配布する。また、この砂防読本を抜粋して市の広報紙に連載して市民への周知をしていく。

### 砂防読本をどのように活用しているか

**問** 鹿児島県は、小学校高学年向けに砂防読本を配布している。この砂防読本を各小学校で、どのように活用しているか。



抹茶パンの給食



玉垣 議員

# 高齢者事故の交通安全対策は

## ▶ 法令講習等実施する

**玉垣大二郎議員** 近年高齢者のハンドル型電動車いすの事故が多く報告されている。転落や追突による事故が全国では平成17年から平成21年までに67件発生し、20人が死亡している。高齢者を中心とした交通安全対策が必要だと思つが。

**市長** 警察署、交通安全協会と十分連携を図り、法令講習等実施すると共に、広報紙でも安全運転を周知していく。



ハンドル型電動車いす

### 市道安楽線の改良は

**問** 朝夕の買い物物や外出に、ハンドル型電動車いすや買い物カートを利用している市民が多くなった。安楽線の歩道部は段差や傾斜、亀裂があり、高齢者や児童生徒の通行の妨げになっている。市道安楽線の全面改良の考えはないか。

### 国・県へ相談し

### 整備していく

**市長** 舗装の老朽化も進み二次改良の必要性を感じている。特定交通安全整備事業の補助を受けられるよう国・県へ相談し、整備していく。

### 県道尾野見伊崎田線の改良について

**問** この路線は以前、一部2車線に拡幅され、現在は都城志布志道路の工事も始まり整備が進んでいる。しかし、県道志布志福山線からの入り口180m区間は、旧道のままで狭く危険であるが、改良について県とどのよう協議してきたのか。

### 努力していく

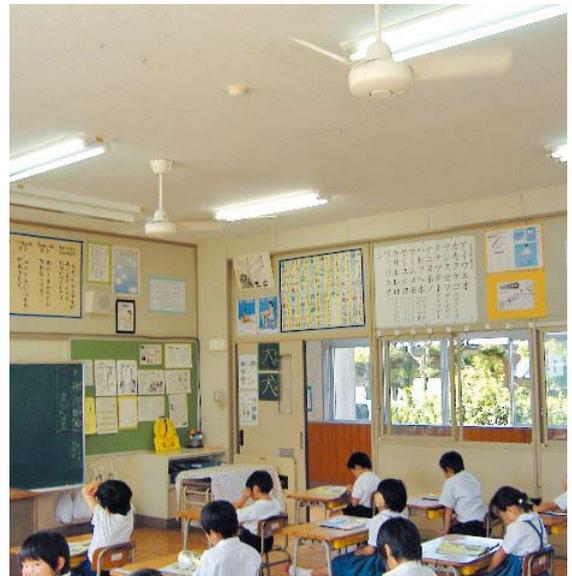
**市長** 平成21年11月に、曾於地区土木協会主催の要望説明会で、早期事業採択を直接要望した。今後も局部改良や、15車線等を含め、事業採択に向け鋭意努力していく。

### 学校トイレの洋式化について

**問** 市立学校のトイレについては以前から少しずつではあるが洋式化への整備がなされ、本年度をもって全学校に設置されたことになる。しかし、設置台数等十分とはいえない。今後の整備をどのように考えているのか。

### 年次的に整備していく

**教育長** 学校からの改善要望が高い施設であり、平成19年度から順次、整備を進めてきた。洋式トイレのない校舎など考慮し



教室への扇風機設置を

### 扇風機導入について

**問** 猛暑・酷暑の中、熱中症患者が急増している。学校での熱中症対策として扇風機設置が急務と考える。普通教室への設置状況と今後の取り組みを示せ。

### 順次進めていく

**教育長** 市内24校中19校で整備は進んでいる。残り5校については、学校の要望を踏まえて財政課とも協議し、順次整備を図っていく。



平野 議員

**平野 栄作 議員** 本市の環境政策は全国的にも高い評価を得ている。

昨年10月から更なるごみ減量化を推進していくために、レジ袋有料化に取り組んでいるが、実施当初と比較すると後退している現状にある。

実施後の推移と現状及び今後の方向性をどのようにとらえているか。

**市長** 実施直後147店舗の参加を得ていたが、大型店舗の不参加により足並みが揃わなくなってきた経緯がある。

有料化実施店舗状況調査を行ったところ、協定契約店舗の2割が実施している状況にある。

一方、マイバッグの持参率は急激に伸びてきた店舗もあり、一定の成果が出ていると認識している。

取組休止の店舗に対し

# レジ袋有料化後の進捗状況は

## ▼マイバッグ持参率向上と併せた取り組みを推進



マイバッグの推進を

て各種協力団体等による申し入れの実施及び市民に対しての協力要請として環境学習会開催やポスター掲示等の取り組みを行うことで進捗を図っているところである。

### 市民の活用例を参考にすべきでは

**問** 抵抗なくマイバッグを活用している多数の市民がいる。活用例や利用方法を広く提案してもらい、普及に役立てていく

取り組みも並行して行っていくべきではないか。

### 協議しつつ

**市長** 店舗により持参率は異なるものの、意識は高まってきている。定着化のさらなる推進を図るためにも市民と一体となってマイバッグ推進について意見を求め、推進の方法を協議していく。

**硝酸性窒素濃度と畜産廃棄物の適正処理は**

**問** 世界規模で硝酸性窒素濃度が増加傾向にあり問題視されてきている。河川の水質悪化に加えて井戸水における濃度上昇も危惧される。この一因として畜産廃棄物の適正処理の問題も含まれてくると思う。本市における現状と処理の状況をどのように考えているか。

### 概ね適正に

### 処理されている

**市長** 大規模化されている畜産農家については、法律に基づいて施設面での整備が進められ、適正

な処理が行われていると思う。  
適切な処理を行っていないところがある場合は、県の環境保全型畜産確立方針に基づく指導を行っていく。

硝酸性窒素濃度については、窒素流出のピーク時が現在検出されていると想定されている。今後は減少傾向に改善していくものと思う。



J A あおぞら堆肥センター



金子 議員

# 法定外公共物赤線青線の管理状況について

## ▶ 経費等をふまえ方向性を示す



管理台帳の整備を

**金子光博議員** 平成10年5月29日の閣議決定で国有財産である赤線青線は極めて簡便な手続きで市町村に無償譲渡され、譲渡された物についての財産の管理は市町村が行うこととなっている。本市の管

理状況はどうか。

**市長** 本市においては平成12年～16年度までに受けた。旧志布志町で6255か所、旧松山町で3359か所、旧有明町で10197か所の約19800か

所あり、管理は財産一覧表と地籍図等において整理している。

### 無断使用の箇所は

**問** 正式な手続きを踏まずに無断使用の箇所等の実態把握、指導はどうか。

### 把握できているか

**市長** 実態の把握ができていない状況である。事案があった場合、現状回復を指導する。

### 管理台帳の整備を図る必要は

**問** 法定外公共物については市民の財産となるので、しっかりとした管理台帳の整備を図る必要があるのではないか。

### 今後体制をとる

**市長** 現在、一覧表はできているが、地籍図の情報には入っていない。今後整理しながら確認できる体制をとっていく。



水路（青線）の状況

### 年次計画を立て進めて行く考えは

**問** 筆界未定によるいんなトラブルの発生原因を取り除くために、年次計画で進めていく考えはないか。

### 方向性を示す

**市長** 約2万件に及ぶか所について順次、国土調査に基づく境界等を復元させる作業に取

り組むが、費用が幾らぐらになるのか、そのうえで何年かけて行うというような方向性を示していく。



小園 議員

# 本庁の見直しを含めた議論は

## 十分考えながら検討を

いづことになれば民生委員にもさらなる苦勞をかけるのでその手立ても考えながら、今年度はこの形でやりたい。次年度は新たな課題も発生したので、そのことも併せて予算を立てたいと考えている。

### 新たな課題も併せて対応する

市長 敬老祝金が安否確認のために有効な手だと

度分で3月診療から6月診療までの療養給付費の伸び率が対前年度比で7.6%減となっている。今後、年間を通して減となれば医療費の軽減となるので制度の中で税率の改定については免れるのではないかと考えている。

### 敬老祝金の全員支給は

問 3月議会で敬老祝金が当初予算1700万ほど計上されていたので75歳以上3千円を全員に支給できないかと質問をした。市長の答弁は、新たな検討も必要なのか内部で協議させてほしいとのことであった。独居老人も多くなっている状況で見守りや安否確認もする必要を考えるが、どういった検討がなされてきたのか。



有明の本庁舎

### 小園義行議員 役所の

組織見直しにあたっては、人口の多い地域には住民の要求も多く事務量も増える。その立場で議論する時に本庁が有明にあることが住民にとってどうなのかということを含め、住民サービスの低下を招かない議論をし、提案すべきと考えるがどうか。

### 市長 何回も質問を受け

職員も十分そのことについては考えながら検討チームに臨んでいる。今後5年先10年先を見極めた時にこの地でふさわしいのかというような観点からも検討を重ねてきている。

### 国保税の状況は

問 平成21年度の国保税の決算状況はどうか。あわせて市長は5月の臨時会で国保の状況はだいぶ改善されているが、まだ財源が不足しているの以前年並みに準ずるようお願いしたいと答弁している。決算の状況をうけて引き上げをしないといかないと考えているのか。

### 税率の改定は免れる

市長 21年度の決算状況は歳入合計5億2657万1710円、歳出合計47億5091万4166円。差引額3億7565万7548円が22年度への繰出金である。引き上げについては19年度以降、さまざまな健康増進運動に取り組み、その効果が徐々に現れている。今年



宝寿園での敬老祝い



# 名寄せの共有者分のシステム化はできないか

## ▶ 事業として位置づける



陥没の様子

**下平晴行議員** 個人の名寄せについては、申請するとすぐ発行できるが、共有者分の名寄せになると、申請者から関係者の名前を申し出ないと発行できないために、市民は大変な不便をしている。共有者分のシステム化はできないか。

**市長** 現状においては電算システム上の行政基本に登録されている

最初の氏名で検索しないと名寄せの発行はできない状況である。市民に大変な不便をかけているが来年4月の組織再編の中に事業として位置づける。

### 鳥井下地域の地盤沈下対策は

**問** この地域では宅地陥没や道路陥没、擁壁崩壊が発生して地域住

民は大変な負担を強いられている。行政は市民の生命財産を守る義務があるが、地盤沈下対策はどうか。

### 擁壁自体の構造が工作物として不十分である

**市長** 原因として、地下水位が高いこと、高盛り土であること、宅地内雨水等の処理、擁壁自体の構造が工作物として不十分であることが考えられる。

### 都市下水道の水抜きに砂止め工法の不備では

**問** 擁壁構造の工作物の設置については問題もあるかもしれないが、水抜きに砂止め工法がしていないために、水と砂が共に流出したことにより、沈下が考えられる。原因を究明する考えはないか。

### 現場の原因を究明する

**市長** 陥没箇所については現場を確認して原因を究明する。



法定外工作物  
(赤線・青線)の  
払い下げはなぜ  
できないか

の土地については、市の重要路線と位置付けられている市道町原・弓場ヶ尾線に接しており、将来交通量の増に伴う拡幅計画が予定されているため払い下げできない。

**問** 行政は市道町原・弓場ヶ尾線沿いの隣接する赤線等については、住宅を建築する際、譲渡できると説明したために、関係する土地を購入した。なぜ赤線等の払い下げができないか。

### 拡幅計画のために払い下げできない

**市長** 今回の払い下げ

一年中で一番気候のよい気持ちのよい季節が秋である。昔から日本では秋の七草といつて、野原に咲く美しい七つの花をながめたり、飾ったりして秋の気分を味わう。

また秋は年中で空が一番美しいところで、月の光もとても美しく明るく、一五夜の満月を仲秋の名月と言ひ、この夜は薄（すすき）を飾って団子や里芋、栗等を盛りお酒を供えて月見をする。加えて仲秋の夜雲などで月が隠れて見えないことを「無月（むげつ）」雨が降ることを「雨月（うげつ）」と呼び、見えないながらも風情を賞するものとされる。

日本には一五夜の月を鑑賞する習慣は、中国から伝わっている。今も全国各地で、一五夜行事が行われているが、私どもの松山地域でも、かつてはカズラを取ってきて、綱引きの大縄を結うところも数カ所あり、一五夜は地域や集落の大きな行事であったが、今では大縄を結

## 議員控室 「仲秋の名月」

福重彰史



うところも、ほとんどなく、かろうじて数か所の集落で、既成の綱での綱引きや相撲等が行われている状況である。

今年の一五夜は晴天で素晴らしい名月であった。我が家でも秋の七草を一升瓶に飾り、竹で作ったバラ（箕）に芋等を供え、仲秋の観月をした。昨今は忙しい世の中になつてい

るが、せめて季節の風情ぐらい楽しめる農村社会（志布志）であつてほしい。

### 傍聴席に 開田の里

### すこやか大学生

9月定例会に「開田の里すこやか大学」の伊崎田学級・有明学級の受講生55人が2日間にわたって傍聴に来られました。

皆さんメモを取るなど、熱心に議論を見守っていました。

議会も傍聴席が多いほど緊張とやる気にあふれ、熱気を帯びてきます。

1人でも多くの傍聴をお待ちしております。



## どうぞ傍聴席へ 次回定例会は12月です

### 編集後記

丸山 一



異常な天気が続いております。奄美大島は記録的な豪雨により、土石流が発生して人的被害も出ており、ライフラインも寸断され、孤立した集落も多く見られます。地球規模的に見ても台湾や中国などさまざまな国で甚大な被害が出ております。

我が志布志市は、幸いにも一昨年より台風の影響や上陸がなく、低気圧の通過による被害もあまり発生していないのは不幸中の幸いです。

また、宮崎県での口蹄疫も鹿児島県ではさまざまな努力により発生しませんでした。経済的な面でもかなりの損失を被りました。

復旧に向けて市も議会も協力していきますので、頑張っていきましょう。

### 広報等調査特別委員会

委員長 下平 晴行 玉垣大二郎  
副委員長 坂元修一郎 鶴迫 京子  
平野 栄作 藤後 昇一  
西江園 明 毛野 了  
丸山 一

### 発行責任者

志布志市議会議長 上村 環